



目指す学校		
<p>本校では、学習指導、生活指導、進路指導等を通じて生徒の資質・能力を向上させ、持続可能な豊かな社会で中核の役割を果たす人材の育成を目指している。そのために、主権者として必要な学力を身に付けることを基盤にして、社会的規範の涵養と健康や体力の充実などを図っている。それらの実現のために、「1 学力向上と希望進路の実現」、「2 活力のある学校生活の実現」、「3 地域等との連携と情報発信の実現」、「4 持続可能な学校づくりの実現」の4項目を、学校経営の中期的目標とする。そして、その目標実現のための具体的な数値目標を以下に設定する。</p> <p>(1) 3学年最終の模擬試験の平均点偏差値を各科目で50以上とする。 (2) 大学入学共通テストの平均点偏差値を各科目で50以上とする。 (3) 中堅以上の大学の合格者数を卒業時に延べで160名以上とする。</p>		
中期的目標と達成に向けた方策 (方策：①～⑧)	今年度の取組目標と達成に向けた具体的方策 (目標：①～⑧/方策：○)	具体的な方策に関する数値目標 (目標：①～⑧)
<p>1 学力向上と希望進路の実現</p> <p>①中堅以上の大学進学に必要な学力の育成を確実に行う。</p> <p>②生徒が自ら高い目標を設定して実現する進路指導を行う。</p>	<p>① -1 「都立高校学力スタンダード」を活用した学習指導の充実を図り、生徒の学力を向上させる。 ○授業規律を確立した学習指導を行い、生徒が主体的に学習に取り組む態度を育成する。</p> <p>① -2 生徒の学力の定着と向上を目的とした講習・補習等の講座を強化する。 ○放課後や長期休業中の教員による講習・補習や個別指導、予備校による講習や勉強合宿などの充実を図る。</p> <p>① -3 読書活動を通じて幅広い知識の習得・活用・探究に取り組むことで、生徒の思考力・判断力・表現力の向上を目指す。 ○学校図書館と教科等が連携した読書活動を推進する取組を継続する。</p> <p>① -4 先端技術活用実証研究校として教育分野における最先端のデジタルツールを活用し生徒自ら学習に向かう力を培う具体的な方策を確立する。</p> <p>② -1 進学では一般受験を推奨する指導を継続し、模擬試験等の分析結果も有効に活用する。 ○模試の分析会やケース会議等でデータを利用し、個に応じた出願指導を行う。</p> <p>② -2 「進学指導研究校」の指定を活用し、三年間を見通した意図的・計画的な進路指導を行う。 ○「進路の手引き」等を活用し、進路ガイダンス等の様々な進路行事を、適切な時期に実施する。</p>	<p>① -1 平日の平均家庭学習時間を、<u>1・2年生で2時間以上、3年生で4時間以上</u>とする。</p> <p>① -2 年間通じた講習・補習等の講座数を、<u>延べで60講座以上とする。</u> <u>教員の補習や個別指導、講習、勉強合宿等に係る時間を500時間以上とする。</u></p> <p>① -3 生徒の不読率の減少に取り組み、都の目標でもある<u>不読率を15%以下とする。</u></p> <p>① -4 「未来の東京」戦略ビジョンを現実のものとする教育実践を行い<u>評価検討会を1回以上行う。</u></p> <p>② -1 GMARCH以上の大学への<u>現役合格者数を、延べで55人以上とする。</u>年3回以上の模試分析会、データ会議を実施する。</p> <p>② -2 大学入学共通テストの<u>受験率の80%以上の定着を図り、卒業時の進路決定率を100%とする。</u></p>

<p>2 活力のある学校生活の実現</p> <p>③部活動などの特別活動の充実に向けた指導を継続する。</p> <p>④基本的な生活習慣の確立と規範意識を醸成する指導を継続する。</p>	<p>③部活動の一層の活性化と学校行事の充実により、生徒の学校への帰属意識を高める。</p> <p>○適切な休養日及び活動時間等を設定し、合理的でかつ効率的・効果的な活動を推進する。</p> <p>④ -1 「都立高校生活指導指針」に基づく指導により、ルールやマナーを遵守する態度を育てると共に、いじめを根絶する。</p> <p>○遅刻防止、挨拶の励行、端正な身だしなみ等の指導を、全教員の共通理解に基づき実施する。</p> <p>④ -2 生徒の生命尊重の指導や自殺防止のための教育を推進する。セーフティ教室等で必要な安全教育を行う。</p> <p>○スクールカウンセラーとも連携したSOSの出し方に関する教育を行い、生命に関わる重大事故の発生防止を継続する。</p> <p>④ -3 「学校健康推進計画」に基づく学校保健指導の充実により、健康や体力の向上を目指す。</p> <p>○専門医の講話や学校保健委員会の活用、学校医との連携等による保健指導の充実を継続する。</p> <p>○学校保健やSC だより、感染症対策等、適宜、情報発信をする。</p> <p>④ -4 組織的な美化指導の充実を図り、校内の環境整美に取り組む。</p> <p>○全教職員による教室等の学習環境の整備やリサイクルに関する指導を強化する。</p>	<p>③ 部活動への<u>加入率を100%</u>とする。</p> <p>④ -1 <u>体罰といじめ0</u>を継続するとともに、年間の<u>遅刻率を3%未満(1週間で1・2年生は、30人以下、3年生は35人以下)</u>とする。</p> <p>④ -2 自殺の未然防止に関する指導を継続し、<u>生命に関わる重大事故の件数0</u>を継続する。</p> <p>④ -3 「アクティブプランto2020」に基づく体力向上の取組により、全学年の男女共に「東京都児童生徒体力運動能力生活運動習慣等調査結果」での<u>全国平均以上</u>を目指す。</p> <p>④ -4 校内美化に関する学校評価アンケートでの<u>肯定的回答を80%以上</u>とする。</p>
--	--	--

<p>3 地域等との連携と情報発信の実現</p> <p>⑤連携型中高一貫教育を活用した地域等との連携を強化する。</p> <p>⑥教育活動に関する情報発信と、募集対策のための広報活動を強化する。</p>	<p>⑤近隣の小・中学校や地域等とも連携をしながら、オリンピック・パラリンピック教育を実施する。</p> <p>○東京 2020 大会以降のレガシー構築も見据えたオリンピック・パラリンピック教育を実施する。</p> <p>⑥-1 様々な媒体を活用した教育活動等の情報発信により、本校の教育内容に理解のある生徒の募集に努める。</p> <p>○ホームページと SNS などを活用した本校の教育活動に関する情報を随時に発信する広報活動を推進する。</p> <p>⑥-2 学校説明会等を必要に応じて実施するとともに、多摩地区等を含めた外部で開催される説明会等にも可能な限り参加をする。</p> <p>○学校案内を都内の中学校と学習塾へ教職員等が配布をするなどの募集活動を積極的に行う。</p>	<p>⑤『東京都オリンピック・パラリンピック教育実施方針』等に基づく教育活動を、<u>年間3回以上実施</u>する。</p> <p>⑥-1 ホームページと SNS を年間 200 回以上更新する。</p> <p>⑥-2 <u>推薦に基づく選抜での応募倍率4倍以上、学力検査に基づく選抜での応募倍率2倍以上</u>を目指す。</p>
<p>4 持続可能な学校づくりの実現</p> <p>⑦経営企画室と各分掌や各教科等と連携を密にした効率的な教育活動を推進する。</p> <p>⑧ライフ・ワーク・バランスを更に推進する。</p>	<p>⑦経営企画室が中心となり、計画的かつ効果的な予算の配分と執行を継続する。</p> <p>○経営企画室と管理職・分掌等が協働して、本校の課題の解決を目指す予算編成と執行を実現する。</p> <p>⑧「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、業務の縮減と効率化を更に推進する。</p> <p>○部活動指導の在り方の検討、各種会議等の回数の減少や効率化を図り、実働勤務時間と在校時間の縮減に取り組む。</p>	<p>⑦予算執行状況を踏まえ、次年度の予算編成指針を<u>10月中に策定</u>する。</p> <p>⑧教職員の意識改革の継続と業務内容等の見直しにより、月当たりの<u>時間外在校等時間 45 時間超過</u>の教職員をなくす。</p>